



若枝ユースキャンプで喜びの賛美

『先輩たちの信仰を見て学び、その信仰に生きる』

昨年のTPKF全国大会50回記念大会のテーマは3世代にわたる信仰、FOCUSでした。永井師による力強いメッセージを聞きながら、どのように信仰のバトンを受け、またどのようにしてそれを次世代へと手渡していけばよいのかを考えていました。

先輩たちの信仰のバトンを受け取ることは、先輩たちの信仰を見てそこから学ぶことだと思いました。時代が違って、信仰における本質は決して変わることがありません。だからこそ、時が良くても悪くても宣教の働きに励むことが出来るように、信仰の本質を追及することが大切だと考えます。

ペンテコステ派の祝福のひとつは聖霊の働きと導きに対してオープンであることではないでしょうか。ですが、多くの若い世代の人々にとっては、具体的にはこれはどういうことなのか。このことは不思議でとらえにくい祝福なのかも知れません。TPKFの働きがまだ始まったころには、聖霊の激しい働きや奇跡がたくさん起こっていたと先輩た

ちから聞いています。主イエスの栄光が時代を経て現されつづけるために、教会やクリスチャンがリバイバルされることを祈り求めています。

先輩たちから受け継ぐ信仰は、私の世代のためだけではなく、次の世代に対するものでもあると深く教えられました。それは私たちの子どもの世代でもありますし、また教会に起こされる回心者たちのことです。

私たちの世代は先輩たちから学んだその信仰に生きていくことが求められます。聖書のみことばに聞き従い御霊に満たされ続けること。あらゆる祈りと願いを用いて神の恵を待ち望むこと。枝となって多くの信仰の実を神の栄光のために結ぶこと。そして一人でも多くの人がイエスのお名前によって祝福されること。

イエスの福音を見て学び、その信仰を生きていき、主の兵士として戦うための恵みを日々御霊によっていただきたいです。

(山科キリスト福音教会 レフトサーリ サミペッカ神之助)

「バトンの引き継ぎ」

私は今年3月末、K B Iを卒業してから26年間、主の恵みとあわれみによって仕えさせていただき、宣教師から引き継いだ秦野クリスチャンセンターを後継者稲葉先生夫妻に委ね、離れました。

私は、私自身が30代後半になったとき、後継者を育て引き継ぐのに10年は必要だから私が45歳になるくらいまでには献身者が与えられるようにと思うようになりました。振り返ってみると、45歳の時に稲葉先生が献身をし、ちょうど10年で世代交代をしました。その間に稲葉先生にはK B Iでの学びと訓練、教会での奉仕、ともに働きのできる伴侶との出会いと結婚、と神様の時にかなった導き成就していきました。そして、世代交代の時期だと強く感じました。

私が世代交代にあたり大切にしていることは、「教会はイエス様の教会であるので、その教会が未永く繁栄し用いられるために、将来を考え、早目から主のみことと導きを求め始める。」「自分自身が教会の祝福となっている間は誠実を心がけ仕えさせていただくが、人間的（肉的）な思いや情で働きを続け、そこに留まることによって、教会の

祝福の妨げにならないように気を付ける。」この二点です。ということで、後継者の準備とともに私自身の働きの導きをも求めてきました。



自分自身の導きを求める中、秦野クリスチャンセンターに留まり稲葉先生夫妻をサポートするという導きではなく、無牧の教会への思いと重荷、みことばによる確信が与えられ、10年近く無牧であった横須賀クリスチャンセンターへと導かれました。しかし、もちろん必要があれば稲葉先生夫妻をいつでもサポートできる体制にもあります。

今年4月より横須賀クリスチャンセンターも私も新しいスタートをしました。と同時に、10年後、次の牧師に引き継ぐべく働きもスタートしました。

（横須賀クリスチャンセンター 芳三容子）

TPKF 「東日本支援特集」 震災から3年目、現地からの報告

多くの方々のご支援とご協力により、私ども教会は、NPO法人などと協力しながら、仮設住宅でのカフェや慰問の活動を継続しています。被災者の仮設住宅での生活も3年を越えました。仮設での生活は決して楽なものではありません。最近も報道されましたが、冬の防寒対策が裏目に出て、カビだらけになるなど、過酷な中で生活を続けておられます。

復興支援住宅などへの転居も始まりましたが、それは未だごく一部に限られています。自力で土地を見つけ、住宅再建ができる方も決して多くはない状況ですので、寄り添い、福音を包括的に伝えて続けていくことが必要です。

石巻市の大瓜仮設団地、追波川仮設団地への訪問をしています。そこにお住まいになっているのはほとんどが雄勝地区で津波の被害にあったの方々です。ただ、これらの仮設団地でもちょっと大げさな表現になるかもしれませんが、格差があり、特に大瓜団地には訪問する団体は他にはありません。そのような団地が他にも数多くあり、教会の継続的な働きが求められます。

これらの団地では「お茶っこ」と呼ばれる、お菓子やお

茶やコーヒーなどをいただきながら、話を聴き、時には歌と一緒に歌ったり（ゴスペルや「君は愛されるために生まれた」を手話付きで）、料理（たこ焼きなどの簡単なもの）を作ったりしながら、来てくださる方々との関係づくりに励んでいます。



また、例えば、マッサージをするだけでなく、マッサージの仕方も覚えていただくことも被災地での取り組みでは欠かすことができないものだと考えています。このような自立支援も働きの大切な側面で、教会関係の諸団体もこの分野では積極的に取り組んでいますが、それらの働きを全国の教会が支えていくことが必要だと考えられます。

このような働きは決して派手なものではありませんが、被災地では毎日のように、教会や関連団体が進めています。このような種まき、そして、関係づくりがやがて来ようとしている救いのために用いられますように、ぜひお祈りください。

（拡大宣教学院 学院長 永井信義）

TPKF 諸教会の恵み

《イースト》栄シャローム福音教会

6月14日はグローバル・アウトリーチ・デイ（G・O・D）世界中で伝道をする日ということで、栄シャローム福音教会も7月に予定している主催イベントと教会案内を載せたチラシを駅前配布する取り組みをしました。

一人でも多くの方々に教会へ来て欲しいという思いを持ちつつ、収穫を夢見ながら畑に種を蒔くように一枚一枚を配ることが出来ました。しかしながら、途中なかなか受け取ってもらえない状況を目の当たりにするとこの行動がどれだけ救いへ繋がるのかと希望を失いそうにもなりましたが、そうではなく、私たちは目に見える結果や状況でなく、目に見えない方がどのように収穫を得させて下さるかを期待し、主がすべての事を働かせ益としてくださると確信も持って宣言出来る者であると改めて気付かされました。配られたチラシが用いられることを祈りつつ、これからも出



伝道師就任された新實師

きますように。

て行くクリスチャンとして伝道の働きに携わりたいと願います。この日本中に、また世界中に主の名を呼ぶ者がたくさん起こされています。

（伝道師 新實千枝）

《FCMF》勝山自由キリスト教会

勝山自由キリスト教会の役員会を再スタートして、3年の月日が流れ行きました。今、毎週の礼拝、MEBIG、祈り会、聖書研究と、病院訪問、チャーチ・ル・茶々（カフェ）等が、行われています。また毎年2回、吉田隆師ご夫妻を、お迎えして研修会をして頂いています。その時、毎回恵利子先生が、大きなキャンバスを持って来られ絵を書いておられます。去年は、恵利子先生の絵を持ってきて頂き、一日カフェ（個展）を開催しました。個展、吉田隆師のフルートの演奏、お証と、素晴らしい時間を持つことが出来ました。山本義武師は、岐阜の地で開拓伝道をされています。月に一回、勝山教会に来て下さりメッセージと交わりの時を持ってくださっています。教会員の高齢化は進んでいますが、それぞれが与えられた奉仕をこなし、神



様が一人ひとりに下さった力で教会は守られています。たくさんの祈りが、積み重ねることを、日々感謝しています。（伊藤みどり）

《キリスト福音》守山キリスト福音教会

昨年5月、聖霊様が「妥協しない礼拝」を求めていることを知り、1週間（168時間）の中の2時間をささげ



きれなくて、どうして残りの時間を主にささげられるのか!?という問いかけが始まりました。その後、「人が集まらないから止めよう」と決めていた火曜夜の祈り会も、主が「やめるのではなく…もっとしなさい」と語られ毎週火曜夜は出入り自由3時間の祈り会として再スタート。日曜も礼拝前30分間、祈りの礼拝が今も継続しています。主は続けて神の家族の内に「まったき赦し」を与え、「祈りの家と呼ばれる」べき教会の姿を徐々に回復させ、「賛美の回復」と「家庭の回復」へも導いて下さっています。その中で、若い世代が「断食と祈り」を始め、上の世代には、「次世代に主の祝福を流す役割」があることを語られ、私たちは「すべての世代がキ



愛する長老・執事

リストに根ざし世に影響を与える教会」、「真心から主を愛する花嫁なる教会」となって、主の再臨に備えていきます。

（牧師 上田勇矢）

編集長のデスクより

20代～30代の神学校卒業生がTPKFの母教会で奉仕をするようになりましたのでTPKF全体の奉仕者の平均年齢が多少若くなりました。

ペンテコステ誌では出来るだけ若者に焦点を当て、ユースの集まりの紹介、写真を載せてきました。教職者、教会員の高齢化が進む中でTPKFの将来を案ずる一人でしたが、主は確実に祈りを聞いておられ、日本を愛しておられる事を実感しています。諸教会に新しく救われる方々が加えられ、献身者が起こされていることは大きな励みです。主は無から有を呼び起こされる方ですから、大いに主に期待するものです。同時に、JPCでのセミナーで梅谷先生が語っておられましたが、人を育てる視点を持って自分の手のなしうるわざも忠実にさせて頂きたいと思われています。

今回で編集委員が変わります。小山英児先生、札幌緑先生、上田勇矢先生今までのご奉仕をありがとうございました。KFKから上田勇矢先生（守山キリスト福音教会）が継続、新たにイーストの芳三容子先生（横須賀クリスチャンセンター）、FCMFから辛海雄先生（美濃グレースチャーチ）が編集委員になりました。編集長は私が継続しますのでよろしく願いいたします。（中見 透）

TPKF 全国各地の情報・報告

〈イースト〉「フィラデルフィア合同聖会」



5月5、6日にフィラデルフィア合同聖会を三浦湘南国際センターにて、1泊2日で行いました。主との交わりそして、各教会の皆さまとの交わりをテーマに「ふえろーしっぷ」というタイトルで2日間を過ごしました。約6教会、30名くらいの方々が参加されました。この2日間、テーマの通りの時を過ごすことができました。

5日の夕方に集まり、夜は賛美と祈りの時間を持ちました。2日目の6日は、聖霊についてのメッセージそして、近代教会史の良い学びの時を持ちました。とても濃厚な主の臨在の中で、主との深い交わりをもち、みなさんが聖霊にふれられて、ある方は心の癒し、励ましを受け、涙を流されている方もいらっしゃいました。忙しい社会のなかで、なかなか時間が取れない中で、こうした素晴らしい時を与えられたことがとても感謝です。そして、教会同士や兄弟姉妹との交わりが私たち教会、個人個人にとって、とても大切だと思われた2日間でした。

(竹内友美)

〈FCMF〉 FCMF50周年合同「春の聖会」の恵み



5月2～3日(金～土)金沢にて、合同の春の聖会が持たれました。Welcomeパーティーから始まり、楽しい空気が会場を包みました。3回の聖会で「行って実を結ぶ!ヨハネ15章」のテーマにそって、ボルヨソン師、鈴木新一師、小山大三師がメッセージをして下さいました。「今のイエス様の弟子たち、私たちが行って実を結ぶのです。人々は初め私に会い、私の中の実を味わい、彼らはイエス様に出会って行くのです」「イエス様につながり、御言葉につながりましょう。多くの実を結ぶための刈り込み、嬉しくないこと苦しいこと、それらすべて万事益と成されます」「多くの実を結ぶ枝の条件 ①キリストにとどまる ②刈り込みを受ける ③何でも欲しいものを求める ④賜物を用いる ⑤行って実を結ぶ。聖霊の火を受けて、主のおいでまで仕えましょう」多くの励ましを受け、多くの実を結ばせて下さる主を崇めました。子ども集会では札幌泉姉、ユースワークショップでは小山健師からメッセージがなされ、老若男女101名が恵まれました。記念会では、宣教師の姿などがまとめられた動画を見、永年

福音功労賞が円山師、鈴木勉師、森田師、ランゴスダーレン師、札幌斉師に贈られ、奥様方にも花束が渡されました。

主が導いて下さる実り豊かなこれから!が楽しみです。

(札幌みどり)

〈キリスト福音〉「若枝ユースキャンプ2014の恵み」

5月連休3日間、フィンランド学校を会場に、吉田隆師とスタンレー師をメッセンジャーとして「弟子となれ!」という大胆なテーマのもと開催されました。これまでは、昼は山登り、夜はノンアルコールBarが楽しみでした。今回、この要素は一つもなく、主への礼拝と賛美、主との親密な祈りが楽しみとなりました。毎晩、集会の後の祈りが2時間続き、朝は6時から祈りと賛美…と霊的健全な環境が整えられました。しかも、若者たちはチャレンジされた『メディアを手放す』実践として、スマホをかごに集め、帰るまで手に持たないキャンプとなりました。主との間に大きな妨げが除かれた結果、時間が作られ、参加したお互いの間に真実な会話と祈りが開かれ、2日目夜



の祈りでは、悔改めが多くなされました。でも、本当の戦いは「キャンプ後の生活の変化」です。若枝はキャンプ後、「実行委員会」

を改め「若枝ユースミニストリー」として若者たちの霊的成長のために仕えていくことを決めました。

(顧問:上田勇矢)

〈関西聖書学院〉

新緑を楽しんでいた時期は早や過ぎ去り、梅雨から本格的な夏の時期となりました。

KBIでは数年ぶりに学生主導の宣教ウィークが持たれました。(6月12-16日)

今年は本科生29名で、3年生を中心に6チームに分けられました。彼らが主体的に行先を祈り、先方の教会と連絡、調整をはかり、費用も自分たちで工面しての奉仕でした。今回は茨城、長野、愛知、奈良・京都、福井、香川の方面に出かけました。開拓教会から歴史のある教会まで、事情の異なる場所での先生方や教会員の方々と交わり、また教会に初めて来られる新しい人々との出会いは彼らにとって深い印象を残す学びとなりました。日本の宣教事情を肌で感じる時でした。彼らは整えられつつあります。伝道に備えられつつあります。夏の伝道月間も大いに用いられると信じています。お祈りを感謝します。

(大田裕作)

TPKF 宣教地からの便り —「産みの苦しみ」在原 繁・津記子宣教師—

「木には望みがある。たとえ切られても、また芽を出し、その若枝は絶える事がない。たとえ、その根が地中で老い、その根株が土の中で枯れても、水分に出会うと芽が吹き、苗木のように枝を出す。」ヨブ記14章7-9節

日本の皆さまいかがお過ごしでしょうか。アルゼンチン宣教のためにご支援を賜り、心から感謝申し上げます。こちら奥地ミシオネス州には冬将軍が到来しています。教会建設現場に向かう今朝7時過ぎ、背中を丸めながら道行く人の吐く息は白く、あたりは霜で真っ白でした。我が家では、暖房用に薪の備蓄を始めたところです。

1. 経済恐慌と治安悪化：2月に各州で発生した暴動、略奪騒ぎが収まったものの、強盗殺人事件がミシオネス州内で頻発しています。先週モンテカルロで発生した強盗事件では、製材工場の管理人家族を縛り上げてお金を奪い、後は家に放火して逃走するという残酷な事件でした。泥棒強盗の被害から守られるようにお祈り下さい。

2. 教会建設：経済恐慌で幾度も頓挫を強いられてきたモンテカルロの会堂建設が再び動き始めました。高さ8

mの天井に石膏ボードを取り付ける工事は専門家に任せましたが、建設費は高かったです。白色の天井を設置することで、明るく落ち着いた教会となりました。

山奥にあるグアッタンプー教会は5割の完成ですが現在建築中断中です。全体が貧困家庭という激しい戦いを強いられている教会員達ですが、日本の皆さまから定期的にご支援いただいている食料支援献金が大きな力になっています。地の果ての日本と言う見知らぬ国のクリスチャンに覚えられ、祈られ、愛されていることは、人々に感動を与え、信仰が強められています。

3. 勝利のカギ、祈り会：モンテカルロ、グアッタンプーの両教会の礼拝出席人数は、それぞれ40名、祈祷会は平均15名です。しかし、水のバプテスマを受け、十字架とくびきを負うところの主の弟子レベルに達している活会員は10名に達していないのが現状です。聖霊の働きと弟子化訓練が求められるので、目下祈祷会に力を投入しています。手で水をなめる300人の勇士を建て上げる事が出来るようお祈り下さい。

TPKF 三役からの提言 —日本ペンテコステ協議会、日本リバイバル同盟からの報告—

6月19日日本ペンテコステ協議会研修会「育てる」テーマでの学びがありました。ペンテコステ12教団から60名が出席しました。

礼拝では神の家族の川本牧師が水野主任牧師から学んだリーダーの姿、1. 愛すること、2. 仕える事、3. 手本を示す事、を分かち合っていました。

セミナーでは加古川の梅谷先生から開拓から今日までの歩みが紹介され、すべての教会員が仕えるキリストの体、赤ちゃんからお年寄りまで礼拝する教会について語られました。

梅谷先生は1970年に開拓を始め、4000坪の敷地、介護サービス、チャースクールのNPO法人、現在365名の礼拝をもっておられます。開拓当初に救われた30名が教会の土台を形成し、クリスチャンホームの子供が教会スタッフになっています。

教会形成……方針は、礼拝、宣教、交わりの3本柱。モットーは「すべての人が仕えるキリストの体」。教会員の50%が奉仕し、受ける文化から与える文化に教会員の意識を変革している。駐車場では満面の笑みを浮かべ歓迎し、教会の玄関ではハグして迎える。福音を明確に伝え、十字架は自分のためだったと本気で言える人を生み出せるように、家庭の中心はイエス・キリストと言

える人を育てている。育てなければ人は育たないので育てる事。関係作りのセミナーを全教会員に受けてもらい、時間をかけて育ててきた。献金は、身も心も命もあなたのもので、という証し。日本の世界観を聖書の世界観に変えていく。(セミナーの様子はJPCのHPにアップされる予定)

NRA (日本リバイバル同盟) :

6月5日(木)から7日(土)まで香港において開催されたエンパワード21アジア大会に世界



18か国から3000人、日本から30数名が参加しました。昨年9月の京都大会の祝福がまだ記憶に新しいところですが、香港大会も最初から最後まで聖霊様の圧倒的な臨在の中で始まり終わりました。主講師のローレンス・コーン師、シンディ・ジェイコブズ師、ビリー・ウイルソン師を始め他の講師たちも一様に次世代を勝ち取り、励まし、育成することの必要性を説かれました。マラキ4章5節-6節から、エリヤの霊が注がれて「父の心を子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる」働きが起こり、家族の癒しが与えられ、世代間の断絶が取り除かれるようにとのチャレンジがあり、そのための祈りがささげられました。(岐阜純福音教会 小山大三)



K B I 愛知県 設楽教会チーム (菅沼威牧師)



【開拓】

平川キリスト福音教会：
 豪州 ACC より派遣、守山キリスト福音教会が受け入れ、協働する中西ペニー宣教師が、青森県平川市にて開拓を開始しました。

左) 市内小・中学校へ福音図書贈呈

(イースト)

栄シャローム教会：新實千枝伝道師任命。

秦野クリスチャンセンター：稲葉基夫牧師、稲葉賜子牧師、竹内友美伝道師を任命。

横須賀クリスチャンセンター：芳三容子牧師着任。

富士吉田純福音キリスト教会：高橋敏雄牧師、高橋洋子伝道師復職。

(FCMF)

ホープハウス：中林史郎師、ボーディル師、牧師として按手。

須磨自由キリスト教会：平川久師、美喜師、伝道師として招聘。

岐阜純福音教会：小山健師が青年担当主事就任 (2013年9月)

(KFK)

タネリ&梨絵シニヴィルタ宣教師は京都での宣教を開始。

大津キリスト福音教会：田中由美子伝道師退任。

水口キリスト福音教会：西川牧雄伝道師帰国。

<単ペン大会 2014 Information >

いよいよ第51回単立ペンテコステ教会フェローシップ大会が近づいてきました。講師のマルコ・セルコマー師は世界中で用いられているすばらしい主の器です。聖霊様の豊かなご臨在に包まれたすばらしい大会となるでしょう。今回、一般のプログラム以外にも、ユース・プログラム、キッズ・プログラムなどを用意しています。どきどき、わくわく、大人から、こどもまで、誰もが楽しく参加できる内容です。ぜひ、ご家族、ご友人をお誘いしてご参加ください。
 (大会実行委員長 置田信也)

①ユース聖会は、北村聖慈師、西川牧雄師、上田勇矢師が御言葉を語ります。他、毎朝のユース祈り会も、主を慕い求めて行われます。若者たちよ！期待して申し込み下さい。ユース対象…24歳以下 ※24歳以下の社会人は、聖会／ユースの選択可



②キッズは、北欧生まれのイッピー賛美を通して、主の弟子として立ち上がるときとなるでしょう！子どもたちの活躍にも期待しつつ。

単立ペンテコステ教会諸教会 (名簿順)

- 北広島自由キリスト教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会 / 横浜フィラデルフィヤ教会
- 磯子フィラデルフィヤ教会 / 金沢フィラデルフィヤ教会 / 横須賀クリスチャンセンター / 保土ヶ谷純福音教会 神の愛チャペル
- 大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会 / 秦野クリスチャンセンター
- 北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音センター / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会 / 甲府カルバリ純福音教会
- 富士吉田純福音キリスト教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会
- 富士純福音キリスト教会 グレースチャーチ / 小松ベタニヤ福音教会 / 小松南部キリスト教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会
- 文教ゴスペルセンター / 松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / 三国自由キリスト教会 / 敦賀自由キリスト教会
- 武生自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会 三方伝道所 / 高富グレイスチャペル
- 岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜純福音大森チャーチ / 大垣インターナショナル・フルゴスペルチャーチ / 岐阜ライフチャーチ
- 美濃グレイスチャーチ / 岐阜中央チャペル / 本地ガ原自由キリスト教会 / 瀬戸サレム教会 / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会
- 大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会 / 田上キリスト教会 (大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会
- 甲西キリスト福音教会 / 雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会 / 京都キリスト福音教会
- 山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会 / 大阪キリスト福音教会
- 須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィヤ教会 / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が一部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。tpkf.pentecost@gmail.com

TPKFの公式ホームページ <http://www.tpkf.org/>